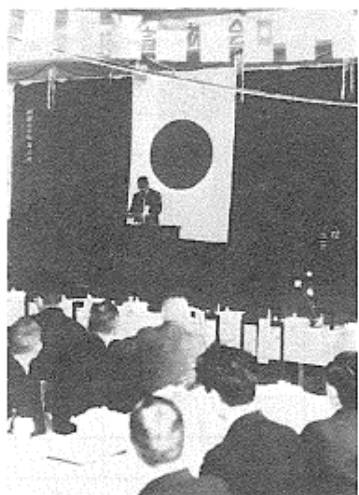


2 町名選定の理由

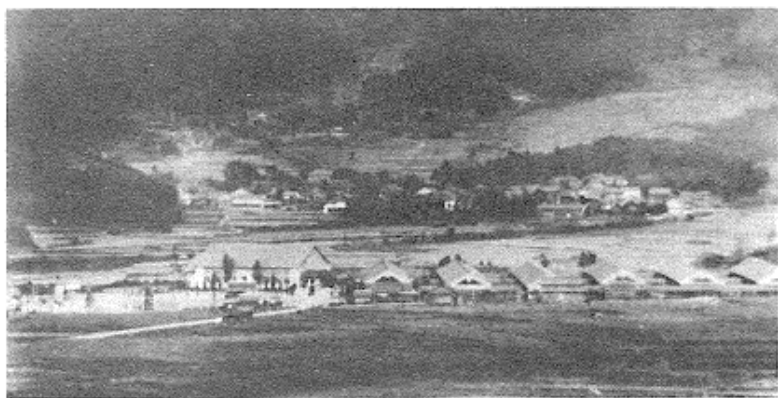


町制施行記念式典

須恵の地名は古く、永和五年（一三七九）の古文書に莊園・須江庄として扱われていた事実があります。須恵という地名の発祥はさらに古いものです。

明治二十二年に町村制が実施され、佐谷・上須恵・須恵・新原・旅石・植木の六カ村が合併し、初めて自治体としてスタートをしたときに、昔から親しまれてきた「須恵」を村名にしました。

戦後、昭和二十八年四月の町制施行のとき、歴史的にも定着していた「須恵」の名称を引続き町名に選定したものです。



役場移転前の大島原

3 役場の位置と位置決定の理由

現在の役場は大字上須恵一一八〇番地の一にあって、昭和十一年十月に約二万五〇〇〇円の建築費で新築しています。

明治二十二年に町村制がしかれた当時は、上須恵字戸頃の戸長役場を村役場にして村制を執行、その後、明治二十七年（推定）に上須恵字東干田に役場庁舎を建設しました（現存）。しかし、年月の経過とともに建物が老朽化してきたこと、村の行政が広域にまたがるようになったために、村民から役場庁舎をその頃小学校があった村の中心に当る位置に移してほしいという要望が強くなったこともあって、将来の村勢の発展を考慮して、当時はまだ人家も少なかった現在地に役場の位置を決定したものです。



旧役場（東干田）前での記念撮影（大正4年）